

舞踊学会第13回／第14回定例研究会報告

〔第13回〕○会 場：筑波大学東京キャンパス大塚地区G館501教室

○開催日：2009年3月7日（土）10：00～16：00

〔第14回〕○会 場：早稲田大学国際会議場会議室

○開催日：2009年6月7日（日）10：00～16：00

〔第13回タイムテーブル〕

◇修士論文発表 10：00～12：00

時間	発表者氏名（所属）	タイトル	座長	コメンテーター
10：00～ 10：30	松岡 綾葉 （お茶の水女子大学大学院）	ビデオダンス研究—舞踊に対する新たな価値—	貫 成人	松澤 慶信
10：30～ 11：00	井野 佳子 （日本女子体育大学大学院）	競技ダンスにおけるペア・ワークの仕組み—ラテン・ダンス「ルンバ」をとりあげて—	杉山 千鶴	福本まあや
11：00～ 11：30	渡辺 碧 （日本女子体育大学大学院）	レフ・イワーノフバレエの19世紀から20世紀への架け橋	森 立子	村山久美子
11：30～ 12：00	山崎 朱音 （筑波大学大学院）	ダンスの授業における教師の実践的指導力に関する研究—熟練指導者の指導言語を事例として—	島内 敏子	猪崎 弥生

◇博士論文発表 13：00～13：45

時間	発表者氏名（所属）	タイトル	座長	コメンテーター
13：00～ 13：45	高橋 京子 （早稲田大学）	日本とインドにおける痲瘡治療祈願の舞踊研究—グラフィノーションによる動作分析を中心に—	杉山 千鶴	宮尾 慈良 中村美奈子

◇一般研究発表 14：00～16：00

時間	発表者氏名（所属）	タイトル	座長
14：00～ 15：00	恩地 元子 （東京芸術大学）	足音はどこから来たのか、そしてどこへ行くのか—タップ・ダンスをめぐる—考察—	尼ヶ崎 彬
15：00～ 16：00	武藤 大祐 （群馬県立女子大学）	イヴォンヌ・レイナー『トリオA』とヴェトナム—複数の「現実」をめぐる—	

〔第14回タイムテーブル〕

◇一般研究発表

時間	発表者氏名（所属）	タイトル	座長
10：00～ 10：30	川島 明子 （日本大学大学院）	「名取」制度からみる児童舞踊の連続性と創造性：「名取」制度の社会的意義の考察から	國吉 和子
10：30～ 11：00	近藤 洋子 （舞スタジオ）	海外公演の成功要因—日本民俗舞踊の研究結果—	
13：00～ 13：45	前田 百恵 （中京大学大学院）他	多様化するダンス：そのエネルギー消費量と運動強度	森 立子
13：45～ 14：45	伊藤 亜紗 （東京大学大学院）	パフォーマー—観客関係の実験場としての映像作品—イヴォンヌ・レイナー『ライン』について	武藤 大祐